

■ドラマやCM、情報番組等に当社店舗が登場！

2025年も数々の情報番組での紹介や、CM・ドラマ・雑誌等のロケ地として当社店舗をご利用いただきました。以下はほんの一例ですが、株主の皆様はお気づきになられましたか？当社店舗のPRとして、また設備の有効活用（撮影利用料収入の計上）として、今後も各メディアへの露出活動に取り組んでまいります。

●カフェ ラ・ボエム白金

【情報番組】テレ東「出沒！アド街ック天国」白金台11位 2025年11月1日放送
【ドラマ】Prime Video「笑うセールスマン」第4話 2025年7月18日より配信
【雑誌】東京カレンダー 2025年3月号

●リグニス(恵比寿)

【TVCM】「FRISK クリーンプレス 60分息キレイ」白石麻衣さん出演
撮影メイキング動画：https://www.youtube.com/watch?v=o8okR4Nijow

●那須パラダイスヴィレッジ

【情報番組】
日本テレビ「ヒルナンデス！」 2025年5月22日、9月12日放送
テレビ朝日「日曜マイチョイス」2025年7月20日放送
フジテレビ「めざましどようび」2025年4月12日放送
【新聞】消費・流通・マーケティング専門誌「日経MJ」2025年3月26日



カフェ ラ・ボエム白金



リグニス

会社概要（2025年12月31日現在）		Corporate Data
商号	株式会社グローバルダイニング	GLOBAL-DINING, INC.
本社住所	〒107-0062 東京都港区南青山七丁目1番5号	
主な事業内容	レストラン経営による飲食事業	
設立年月日	1973年10月5日	
資本金	49,101,453円	
従業員数	単体160名 連結179名（連結臨時従業員数918名）	
店舗数	48店舗（海外3店舗含む）	
子会社	グローバルダイニング、インク。 オブ カリフォルニア	
役員	代表取締役社長	長谷川 耕造
	取締役副社長 兼 営業本部長	小林 庸麿
	取締役 企画開発グループリーダー	樋口 琢匠
	取締役 監査等委員 委員長	藤本 三郎
	取締役 監査等委員（社外）	大島（岡本）明子
	取締役 監査等委員（社外）	川井 隆史

※大島明子氏は2026年3月28日開催の第53期定時株主総会をもって退任予定であります。

株式メモ	
単元株式数	1単元の株式数 100株
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬に開催
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/	

■ご愛顧に感謝 2026年

3月	権八天ぶらあざみ野	20周年
5月	リグニス（恵比寿）	10周年
7月	モンズーンカフェ恵比寿	25周年
8月	RAYARD Hisaya-odori Park（愛知県名古屋市） タコファナティコ ラ・ボエム パスタフレスカ	5周年
9月	権八西麻布・SUSHI 西麻布	25周年
12月	権八炭焼き桜新町	20周年

【閉店のお知らせ】
ららぽーと愛知東郷に出店しておりました『ラ・ボエム パスタフレスカ』『モンズーンカフェ』の2店舗は、2026年1月12日をもちまして閉店いたしました。



権八天ぶらあざみ野



モンズーンカフェ恵比寿

株式情報（2025年12月31日現在）		Stock Information
発行可能株式総数	16,896,000株	
発行済株式の総数	10,421,300株	
株主数	3,368名	
大株主	※持株比率は分母から自己株式（731株）を除いて計算しております。	
株主名	持株数（千株）	持株比率（％）
長谷川 耕造	6,153	59.05
株式会社スペースラボ	792	7.60
ハセガワインターナショナルトレイドカンパニー	626	6.01
ヨシダ トモヒロ	312	3.00
岡三証券株式会社	180	1.74
株式会社古舘篤臣綜合事務所	115	1.11
株式会社SBI証券	101	0.97
内藤 征吾	81	0.78
赤木 一生	77	0.75
小林 庸麿	63	0.61

所有者別株式数比率	株数（千株）	株式数比率（％）
個人・その他	8,394	80.56
その他国内法人	941	9.03
外国法人等	676	6.49
金融商品取引業者	408	3.92
金融機関	－	－

◆お知らせ◆
第53期定時株主総会（2026年3月28日開催予定）における決議の結果（決議通知）については、株主総会終了後、すみやかに当社ホームページに掲載致します。
当社ホームページアドレス https://www.global-dining.com/ir

Business Report 2025

第53期 ご報告（2025 年1月1日から2025 年12月31日まで）

2025年グランドオープン！



LAのダウンタウンビル群の中に佇む“庭園レストラン”

高層ビルが多いダウンタウンの中で、忽然と姿を現す緑豊かな庭園レストラン『Settecento』。最大の魅力は、開放的な癒し空間の中での“ガーデンダイニング”。昼間は緑に囲まれて、夜は幻想的な照明演出の中、手作りパスタやピザを楽しんでいただけます。店内は、3方位のガラス扉によって自然光がふんだんに入る、庭園との一体感を意識した設計と致しました。オープンから地元メディアやSNSを通じて話題となり、順調なスタートを切っております。（写真は店内からテラス・庭園を撮影したものです）

店名：『Settecento』（セッテチェント）
※“セッテチェント”とは“700”を意味するイタリア語
住所：700 W 5th Street, Los Angeles, California
席数：屋内66席、テラス・中庭144席



10/13『カフェ ラ・ボエム下北沢』



駅から3分、茶沢通りを彩るテラスが目印

「ペット専用出入口」が目印の当店。茶沢通り側には、ペットと一緒に心地よく過ごせる憩いのテラス席を配しました。また、地域の日常に寄り添いたいという想いから、店内への入り口は緑道側に設けています。扉を開けると、活気あるオープンキッチンと大きな薪窯がお出迎え。香ばしく焼き上げる自慢のピッツア、明太子パスタ、ティラミスなど、世代を超えて愛される味を、限定ワインや自家焙煎コーヒーと共に楽しみください。

3/19『那須パラダイスヴィレッジ』



ホテル併設の新しい商業施設の誕生

1階は飲食フロア、2階にカジュアルホテルを備えた、日本ではめずらしい複合施設を出店しました。認知度向上に向けて平日地元割15%OFFの実施や、音楽ライブ、ファーマーズマーケット、ハロウィン、クリスマスイルミネーション等のイベントを開催。中でもハロウィンは、その規模感と空間演出が話題を呼び、多くの方々にご注目・ご来場いただきました。今後も感動体験を届ける四季折々のイベント・空間演出を提供することで、「地域に不可欠なランドマーク」を目指してまいります。※2026年2月より、愛犬と一緒に宿泊可能なプランをスタート致します。

施設名：『那須パラダイスヴィレッジ』
所在地：栃木県那須塩原市鹿野崎字戸屋109番7
『ホテルパラディソ』&レストラン・フードコート13業態



※店頭以外でのモバイルオーダー（無人決済）、施設内での音楽イベントやファーマーズマーケット等には、株主優待の適用はございません。何卒ご了承ください。



店名：『カフェ ラ・ボエム下北沢』
住所：東京都世田谷区代沢 2-29-11 パークアクシス下北沢 1F
席数：80席（テラス席含む）

2025年12月末日を基準日とし、500株以上ご所有の株主様には、2026年4月1日から使用可能な株主優待証を同封致しております。

◆優待証に関するお問い合わせ◆

株式会社グローバルダイニング
総務管理グループ

Tel：050-5444-9868
stock@global-dining.com



第 53 期（2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日）が終了いたしましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

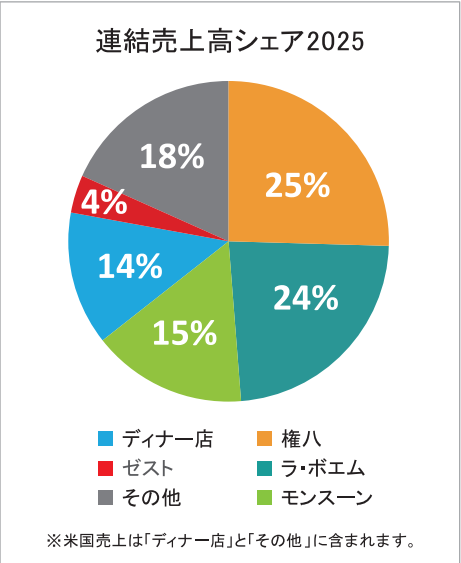
2025 年度は、当社グループにとって「未来への布石」と「確かな手応え」を同時に実感した一年でした。

国内においては、新店 2 店舗の開業（3 月全館開業の大型複合施設『那須パラダイスヴィレージ』、10 月開業の『カフェラ・ボエム下北沢』）と、既存店売上が前年比 6.4% 増と堅調に推移したことから、国内売上高は前年比 10.2% 増の 111 億 49 百万円となりました。既存店では、人材が育ち組織全体が活性化したラ・ボエム（イタリアン業態）、インバウンド・住宅立地ともに堅調な権八（和食業態）が業績を牽引しました。営業利益は、大型複合施設の開業費用を計上したことから、前年比 23.1% 減の 7 億 46 百万円に、また、当期は繰越欠損金の解消に伴う法人税、住民税及び事業税の増加などにより、当期純利益は前年比 45.6% 減の 3 億 94 百万円となりました。

米国においては、年初の大規模山火事という不測の事態に見舞われ、既存店売上は一時的に大きな影響を受けましたが、1 月にダウタウン LA に開業したイタリアン業態『セッテチェント』が、希少価値の高い設備（広いガーデンテラス）を活かして好スタートを切り、米国全体の売上高は前年比 50.1% 増の 25 億 1 千万円と大幅な増収を実現しました。徹底したコスト管理（守りの営業）を貫いた結果、営業損失は 58 百万円（前期は同 2 億 18 百万円）、当期純損失は 86 百万円（前期は同 2 億 1 千万円）と大幅に赤字を縮小し、通期黒字化への足がかりを築いた一年となりました。

その結果、連結業績は、売上高 136 億 6 千万円（前年比 15.9% 増）、営業利益 6 億 88 百万円（前年比 8.6% 減）、当期純利益 3 億 7 百万円（前年比 40.2% 減）となりました。日米双方において、成長投資を実施した中でも利益を残すことができましたので、当社は 17 期ぶりとなる 1 株当たり 5 円の期末配当（復配）を決定いたしました。長らくお待ちいただいた株主の皆様へ、ようやく利益還元ができることを大変嬉しく存じます。

※本資料に記載の業績計画は、発表日（2026 年 2 月 12 日）現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって計画数値と異なる可能性があります。



新年度の 2026 年においては、日米ともに新店の育成・成長が重要施策となります。

国内においては、『那須パラダイスヴィレージ』は商業施設の新パッケージとして構築段階にあり、長期目線で事業の立ち上げと収益化を目指す中、新年度は「体験価値」を創造する『ソフトビルディング期』と捉えております。地域密着型による安定稼働実現に向けて、商圏 50km 以内での認知度向上とリピートを生み出すサービス・コンテンツ開発に注力してまいります。同時に、既存店における赤字店の業績改善により収益性向上に努めてまいります。

米国においては、私が CEO、当社 CFO が米国の CFO を兼務するという経営体制に刷新し、管理体制の強化、並びに本社のナレッジを投入することで、通期業績の黒字化実現と次の成長フェーズへの移行を推進してまいります。

以上の結果、2026 年 12 月期通期連結業績予想は、売上高 140 億 32 百万円（前年比 2.7% 増）、営業利益は新店出店費用が一巡したことから 9 億 48 百万円（前年比 37.9% 増）、親会社株主に帰属する当期純利益 6 億 89 百万円（前年比 124.0% 増）となる見通しです。

当社は「モノを売る」のではなく、食を通じて「喜びと感動というレジャー」を提供し続ける企業です。『那須パラダイスヴィレージ』は、まさにレジャーを詰め込んだ“新業態”であり、長期的に利益をもたらすブランド作りへの挑戦が始まったばかりであります。2026 年度は、この挑戦を着実な成長へとつなげてまいりたいと存じます。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026 年 2 月

代表取締役社長 長谷川耕造



◆ 配当政策

当社は、株主の皆様への利益還元が重要な経営施策の一つであるとの認識の下、企業価値及び株主価値の持続的な向上を目指し、収益基盤の強化と財務体質の健全化の両立を図りつつ、成長投資と株主資本の充実とのバランスを考慮しながら、業績に裏付けられた適正な利益配分を行うことを基本方針としております。

当期末配当金につきましては、これまで取り組んでまいりました企業価値向上のための大型投資（宿泊飲食複合施設）が一巡し、当期の業績が堅調に推移したことなどを総合的に勘案した結果、株主の皆様への長らくのご支援にお応えすべく、2008 年 12 月期以来 17 期ぶりとなる 1 株当たり 5 円の配当を実施することを決定いたしました。

また、次期の 1 株当たり配当につきましても、期末配当 5 円を予定しております。

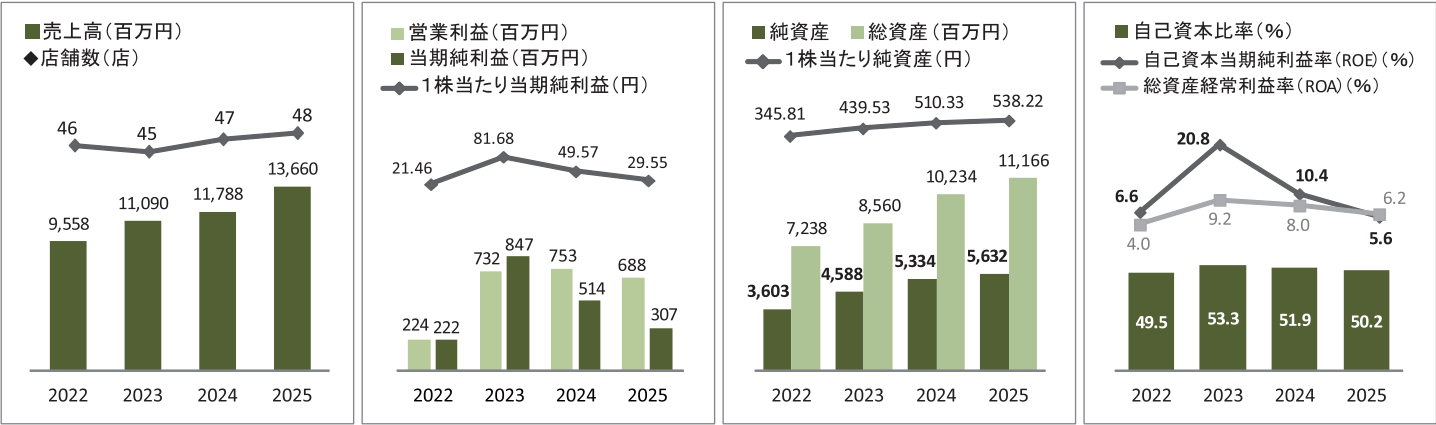
当期末（2025 年 12 月末）基準日の配当金支払開始予定日：2026 年 3 月 31 日

※決算の詳細はこちらをご覧ください
<https://www.global-dining.com/ir/>



◆ 連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights



◆ 要約連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	前期 2024年12月31日現在	当期 2025年12月31日現在
資産の部		
流動資産	2,043	2,138
現金及び預金	788	890
売掛金	590	686
その他	664	561
固定資産	8,191	9,027
有形固定資産	7,051	7,848
無形固定資産	9	7
投資その他の資産	1,130	1,172
資産合計	10,234	11,166
負債の部		
流動負債	1,833	2,200
固定負債	3,066	3,332
負債合計	4,900	5,533
純資産の部		
資本金	46	49
資本剰余金	2,146	2,149
利益剰余金	2,631	2,939
為替換算調整勘定	460	441
その他	48	53
純資産合計	5,334	5,632
負債・純資産合計	10,234	11,166

連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	前期 2024年1月1日から 12月31日まで	当期 2025年1月1日から 12月31日まで
売上高	11,788	13,660
売上原価	9,878	11,639
売上総利益	1,909	2,020
販売費及び一般管理費	1,156	1,332
営業利益	753	688
経常利益	751	660
特別損失	15	80
税金等調整前当期純利益	736	579
法人税等	221	271
親会社株主に帰属する当期純利益	514	307

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	前期 2024年1月1日から 12月31日まで	当期 2025年1月1日から 12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	660	1,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,676	△1,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	600	△141
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△3
現金及び現金同等物の増減額	△391	100
現金及び現金同等物の期首残高	1,180	788
現金及び現金同等物の期末残高	788	889